

様式第 1—1

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の設置計画について	
標記について、保健師助産師看護師法第 19 条第 2 号(第 20 条第 2 号、第 21 条第 3 号)に規定する保健師(助産師、看護師)養成所の設置を計画したので、添付書類を添えて設置計画書を提出します。	

様式准第 1—1

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の設置計画について	
標記について、保健師助産師看護師法第 22 条第 2 号に規定する准看護師養成所の設置を計画したので、添付書類を添えて設置計画書を提出します。	

様式第 1—2

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の指定申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 11 条の規定に基づき保健師(助産師、看護師)養成所として指定されるよう、第 12 条の規定に基づき添付書類を添えて申請します。	

様式准第 1—2

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の指定申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 18 条の規定に基づき准看護師養成所として指定されるよう、第 19 条の規定に基づき添付書類を添えて申請します。	

様式第 1—3

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の学則(課程又は入所定員)、 校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更計画について	
標記について、保健師助産師看護師法第 19 条第 2 号(第 20 条第 2 号、第 21 条第 3 号)に規定する保健師(助産師、看護師)養成所の課程(入所定員)、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更を計画したので、添付書類を添えて計画書を提出します。	

様式准第 1—3

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の学則(課程又は入所定員)、校舎の各室の 用途及び面積並びに実習施設の変更計画について	
標記について、保健師助産師看護師法第 22 条第 2 号に規定する准看護師養成所の課程(入所定員)、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更を計画したので、添付書類を添えて計画書を提出します。	

様式第 1—4

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の学則(課程又は入所定員)、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更承認申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 13 条第 1 項の規定に基づき、学則(課程又は入所定員)、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更について、次のとおり承認されるよう、添付書類を添えて申請します。	

様式准第 1—4

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の学則(課程又は入所定員)、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更承認申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 20 条において準用する第 13 条第 1 項の規定に基づき、学則(課程又は入所定員)、校舎の各室の用途及び面積並びに実習施設の変更について、次のとおり承認されるよう、添付書類を添えて申請します。	

様式第 1—5

	発 翰 番 号 年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○ 代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の学則(課程、修業年限、 教育課程又は入所定員)の変更、校舎の各室の用途及び 面積の変更並びに実習施設の変更承認申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 13 条第 1 項の規定に基づき、学則 (課程の廃止、修業年限、教育課程又は入所定員)の変更、校舎の各室の用途及び面積 の変更並びに実習施設の変更について、次のとおり承認されるよう、添付書類を添えて申 請します。	

様式准第 1—5

	発 翰 番 号 年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○ 代表者名 ○○○○
准看護師養成所の学則(課程、修業年限、教育課程 又は入所定員)の変更、校舎の各室の用途及び面積 の変更並びに実習施設の変更承認申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 20 条において準用する第 13 条 第 1 項の規定に基づき、学則(課程の廃止、修業年限、教育課程又は入所定員)の変更、 校舎の各室の用途及び面積の変更並びに実習施設の変更について、次のとおり承認さ れるよう、添付書類を添えて申請します。	

<記載要領>

- 1 課程の廃止、修業年限の変更、教育課程の変更又はクラス増を伴わない入所定員の変更を行う場合に当該様式を用いること。
- 2 課程の廃止とは、看護師養成所(3年課程)及び看護師養成所(2年課程)について、両方を設置していたところ一方を廃止する場合をいうこと。
- 3 修業年限の変更は、全日制から定時制又は定時制から全日制への変更を含むこと。
- 4 入所定員の変更は、定員の減についても行うこと。
- 5 統合カリキュラムに係る変更承認申請については、「看護師養成所の学則(修業年限、教育課程及び入所定員)の変更(統合カリキュラム)承認申請について」と標記すること。

様式第 1—6

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の学生募集中止について	
標記について、大阪府看護師等養成所の指定申請等に関する指導要綱 6-(1)に基づき 下記のとおり報告します。	
記	
1	名称
2	位置
3	課程名及び入所定員
4	募集中止の時期
5	募集中止の理由

様式准第 1—6

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の学生募集中止について	
標記について、大阪府看護師等養成所の指定申請等に関する指導要綱 6-(1)に基づき 下記のとおり報告します。	
記	
1	名称
2	位置
3	課程名及び入所定員
4	募集中止の時期
5	募集中止の理由

様式第 1-7

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の指定取消申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 16 条第 1 項の規定に基づき、保健師(助産師、看護師)養成所の指定を取り消されるよう、第 17 条の規定に基づき、添付書類を添えて申請します。	

様式准第 1-7

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の指定取消申請について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 20 条において準用する第 16 条第 1 項の規定に基づき、准看護師養成所の指定を取り消されるよう、第 17 条の規定に基づき、添付書類を添えて申請します。	

様式第 1-8

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
保健師(助産師、看護師)養成所の変更届について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 13 条第 2 項の規定に基づき、設置者の氏名及び住所（法人にあっては、名称及び主たる事務所の所在地）、養成所の名称及び位置並びに学則（課程、修業年限、教育課程及び入所定員に関する事項を除く。）の変更について、別紙のとおり添付書類を添えて届出します。	

様式准第 1-8

	発 翰 番 号
	年 月 日
大阪府知事 様	
	設置者名 ○○○○
	代表者名 ○○○○
准看護師養成所の変更届について	
標記について、保健師助産師看護師法施行令第 20 条の準用による第 13 条第 2 項の規定に基づき、設置者の氏名及び住所（法人にあっては、名称及び主たる事務所の所在地）、養成所の名称及び位置並びに学則（課程、修業年限、教育課程及び入所定員に関する事項を除く。）の変更について、別紙のとおり添付書類を添えて届出します。	



様式第 2-1

設置計画(指定申請)の概要

設置者	名称						
	住所	電話					
	代表者名	職位					
養成所	名称	課程名					
	位置	電話					
設置予定年月日							
カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)							
1 学 年 定 員							
その他の併設養成所	養成所(課程) 名(入所定員 名・総定員 名)						

<記載要領>

1 設置者

- (1) 設置者の名称及び住所は、登記簿のとおりに記載すること。
- (2) 設置者の住所の欄には、主たる事務所の所在地を記載すること。

2 養成所の名称

- (1) 養成所の名称は正確に記載し、同一学則の中に他の養成所(保健師、助産師、看護師、准看護師)について規定する場合には、学科名等まで記載すること。

例 ○○学校保健師学科

- (2) 看護師養成所の中に、3年課程、2年課程を併設する場合には、該当する学科名等まで記載し、対応する課程名を(課程名)の後に記載すること。

例 ○○学校看護第1学科 (課程名)3年課程(全日制)

○○学校看護第2学科 (課程名)2年課程(全日制)

3 カリキュラムの種類、修業年限及び1学年定員

- (1) 「カリキュラムの種類」欄について、当該養成所で行うすべてのカリキュラムについて「修業年限」欄及び「1学年定員」欄に対応する修業年限及び1学年定員を記載し、当該申請にかかるカリキュラムに○を付すこと。
- (2) 「1学年定員」欄については、1学年定員を記載した上で、廃止する予定のものにはその数字に×を付すとともに、廃止予定年月を付記すること。また、申請しているカリキュラムを含め、まだ、開始していないものには○を付し、開始予定年月を付記すること。

例 1 令和 3 年 4 月から、定員 40 名の保健師と看護師との統合カリキュラムによる養成を新たに行う場合の看護師養成所についての指定申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)						4 全日制	
1 学 年 定 員						40 R3.4	

※ 別に保健師養成所についての指定申請も必要

例 2 定員 40 名で看護師の養成(3年課程・全日制)を行っている養成所が、令和 3 年 3 月にそれを廃止して、同年 4 月から定員 40 名の保健師と看護師との統合カリキュラムによる養成を行う場合の保健師養成所についての指定申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)			3 全日制			4 全日制	
1 学 年 定 員			<del>40</del> R3.3			40 R3.4	

※ 別に看護師養成所についての学則(修業年限)の変更承認申請も必要

#### 4 その他の併設養成所

看護師等養成所以外のすべての併設養成所を記載すること。

例 3 助産師課程、看護師 3 年課程、准看護師課程、理学療法士課程を持つ養成所

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)		1 全日制	3 全日制		2 全日制		
1 学 年 定 員		15	40		40		
その他の併設養成所	理学療法士課程 20 名(入所定員 20 名・総定員 60 名)						

様式第 2—2—1

長、補佐、専任教員及びその他の教員等の氏名、担当科目及び専任・兼任の別

職 位	氏 名	専 門 分 野	担 当 科 目	時 間 数	専 任 ・ 兼 任 の 別	承 諾 書 の 有 無	備 考
養 成 所 長							
養 成 所 長 補 佐							
専 任 教 員	教 務 主 任						
	実 習 調 整 者						
	そ の 他						
実 習 指 導 教 員							
そ の 他 の 教 員							
事 務 職 員							
そ の 他							

< 記載要領 >

- 1 養成所長及び養成所長補佐が兼任の場合には、その所属及び職位を「備考」欄に記載すること。
- 2 その他の教員については、その所属及び職位を「備考」欄に記載すること。
- 3 専任教員については、その専門分野を記載すること。

様式第 2—2—2

教員の担当別人数

分野名	基礎分野			専門基礎分野			専門分野			
	専任教員	兼任教員	添削指導員	専任教員	兼任教員	添削指導員	専任教員	兼任教員	実習指導教員	添削指導員
教員										
看護師										
保健師										
助産師										
医師										
その他の医療従事者										
その他										
合計										

< 記載要領 >

- 1 保健師養成所及び助産師養成所の場合には、指定規則に定める教育内容については、分野ごとに分けずに「専門分野」の欄に記載すること。

様式第 2—3

校舎の各室の名称、用途及び面積

番 号	室 の 名 称	面 積	専 用 ・ 兼 用 の 別	備 考
総面積		m <sup>2</sup>		

<記載要領>

- 1 兼用の校舎の各室については、どの養成所又は課程と兼用するのかを備考欄に記載すること。
- 2 番号は、添付書類の校舎の平面図の室の番号と一致させること。
- 3 面積は内法で記載すること。
- 4 看護師養成所(2年課程(通信制))で養成所以外の場所で面接授業を行う場合は当該授業を行う場所についても別途本表を作成すること。

様式第 2—4

機械器具及び模型の目録

品 目	数 量
ベッド	
成人用ベッド	
⋮	
実習用モデル人形	
看護実習モデル人形	
⋮	

<記載要領>

- 1 品目については「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」(令和2年10月30日医政発1030第1号「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正についての別添)別表に掲げた順に記載すること。なお、看護師養成所2年課程(通信制)については、看護師養成所2年課程(全日制・定時制)に準じて必要なものを挙げること。
- 2 クラス増を伴う入所定員の変更、課程変更等の場合、既設及び増備の別を記載すること。

様式第 2—5

図書目録総括表

種 別	数 量		
	既 設	増 備	小 計
図書	冊	冊	冊
(内訳) 基礎分野	冊	冊	冊
専門基礎分野	冊	冊	冊
専門分野	冊	冊	冊
(専門分野内訳)			
辞典類	冊	冊	冊
学術雑誌	種類	種類	種類
その他	冊	冊	冊
合計	冊 種類	冊 種類	冊 種類

<記載要領>

- 1 各種別の冊数(雑誌にあたっては種類)を記載すること。
- 2 看護師養成所及び准看護師養成所の図書については、教育内容の分野別冊数を記載すること。また、専門分野の図書については、教育内容の分野別内訳を記載すること。
- 3 新設の養成所については、「小計」欄のみに記載すること。
- 4 クラス増を伴う入所定員の変更、課程変更等の場合、既設と増備の別を記載すること。

様式第2—6—1  
実習施設総括表

種別	名称	所在地 (交通手段及び時間)	実習科目	実習単位数 及び時間
合 計				

<記載要領>

- 1 実習が1単位(准看護師養成所35時間)未満の場合であってもすべて単位、時間数を実習科目ごとに記載すること。なお、准看護師養成所については、時間数のみを記載すること。
- 2 「種別」欄には、次のものを記載すること。
  - (1) 保健師養成所  
市町村、保健所、病院、診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、精神保健福祉センター、子育て世代包括支援センターその他の社会福祉施設、学校、事業所、その他
  - (2) 助産師養成所  
病院、診療所、助産所、保健所、市町村保健センター、産後ケアセンター、子育て世代包括支援センター、その他
  - (3) 看護師養成所及び准看護師養成所  
病院、診療所、訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター、精神保健福祉センター、助産所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、地域包括支援センター、保育所その他の社会福祉施設、その他

様式第 2—6—2

実習施設概要

1 保健師養成所

(1) 保健所及び市町村 ( 年 月 日現在)

名称	
位置	電話
保健所長名 (又は市町村名)	
実習担当課 (係)	
実習科目	
養成所からの距離、学生の交通手段及び所要時間	

1) 職員数 ( 年 月 日現在)

区 分	定 員	現 員	区 分	定 員	現 員
保健師			管理栄養士・栄養士		
助産師			診療放射線技師		
看護師			臨床検査技師		
医師			事務職員		
歯科医師			その他		
薬剤師					
獣医師			合計		

2) 保健所又は市町村の組織における保健師の配置状況  
(組織図及び事務分掌添付)

3) 実習を行う部門の状況

ア 本年度の方針と目標

方針
目標

イ 看護職員の継続教育実施状況 (前年度及び今年度実績)

実習施設内研修	実施件数	件	受講者延べ人数	人
実習施設外研修	参加件数	件	受講者延べ人数	人
研 修 会 名	年 月	内 容	参 加 者 数	

ウ 各種基準、手順の整備状況

区 分	整 備 状 況

4) 実習指導者の略歴

氏名	免許の種類	専門学歴 (卒業年)	実習指導者講習会 (修了年)	実務年数
	保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		
	保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		
	保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		

5) 設備、図書等の整備状況

区 分	有 無	整 備 状 況
更衣室		
休憩室		
討議室		
看護関係図書		図書 冊、学術雑誌 種類
その他		

6) 他校学生等の実習受入れ状況（今年度実績）

区 分	学 校 養 成 所 名	学 生 数	1グループ の 学 生 数	実 習 単 位 数 及 び 時 間 数	実 習 科 目
保健師学校 養成所					
助産師学校 養成所					
看護師学校 養成所	（課程名）				
准看護師学 校養成所					
合 計					

<記載要領>

- 1 実習を行う保健所及び市町村のすべてについて養成所が作成すること。
- 2 実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 3 1)「職員数」は、非常勤職員があるときには、括弧書きにより別掲とすること。
- 4 3)ーイ「看護職員の継続教育実施状況」については、前年度及び今年度の実績について、その代表的なものを簡潔に記載すること。
- 5 5)「設備、図書等の整備状況」については、その有無及び数を記載すること。また、整備等は、実習期間中の専用、兼用(職員／他校学生)の別を記載すること。
- 6 4)「実習指導者の略歴」については、「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」（令和2年10月30日医政発1030第1号「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正についての別添）に定める実習指導者として必要な研修又は専任教員として必要な研修を修了した年及び研修の名称を記載すること。

## (2) 保健所及び市町村以外の実習施設 ( 年 月 日現在)

施設名								
位置	電話							
開設年月日								
設置者名	代表者名				(職種)			
管理者名								
利用者数	定員 人		利用者 人/月		(延べ 人/月)			
実習科目								
養成所からの距離、学生の交通手段及び所要時間								
職員数	区分	定員	現員	非常勤	区分	定員	現員	非常勤
	保健師				その他の 介護職員			
	助産師				理学療法士			
	看護師				作業療法士			
	准看護師				その他			
	医師							
	介護福祉士				合計			
実習指導者の略歴	氏名	専門学歴 (卒業年)			実習指導者講習会 (修了年)		実務年数	
		大学 短大 養成所						
他校学生等の受入れ状況	区分	学校養成所	学生数	1グループ の学生数	実習単位数 及び時間数	実習科目		
	保健師学校 養成所							
	助産師学校 養成所							
	看護師学校 養成所	(課程名)						
	准看護師学 校養成所							
	合計							
備考								

## &lt;記載要領&gt;

- 1 実習を行うすべての施設について養成所が記載することとし、実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 2 「施設名」欄について、診療所の場合には、診療科名まで記載すること。
- 3 「利用者数」欄については、次の数を記載すること。
  - ア 介護老人保健施設及び介護老人福祉施設の場合は、入所及び通所定員を記載すること。
  - イ 訪問看護ステーションの場合は、利用者数を記載すること。
  - ウ その他の施設の場合は、適宜その施設の利用状況が分かるような数を記載すること。



- 4 「実習指導者の略歴」については、「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」（令和2年10月30日医政発1030第1号「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正についての別添）に定める実習指導者として必要な研修又は専任教員として必要な研修を修了した年及び研修の名称を記載すること。
- 5 併設施設がある場合には、「備考」欄に記載すること。
- 6 介護老人保健施設及び介護老人福祉施設については、そのサービス内容を「備考」欄に記載すること。
- 7 実習指導者のその他資格（認定看護師等）、実習指導者が看護職以外の場合職種等は、「備考」欄に記載すること。

## 2 助産師養成所

- (1) 病院、診療所及び助産所 ( 年 月 日現在)

名 称						
位 置	電 話					
設 置 者 名	代 表 者 名					
医 院 長 名 (病院・診療所)						
管 理 者 名 ( 助 産 所 )	氏 名				生 年 月 日	
	免 許 取 得 日				登 録 番 号	
	業 務 従 事 年 数					
病 床 数	総 数	一 般	療 養	結 核	精 神	感 染 症
実 習 科 目						
養 成 所 か ら の 距 離、学 生 の 交 通 手 段 及 び 所 要 時 間						

< 記載要領 >

助産所については、入所可能人数を病床数の「総数」欄に記載すること。

- 1) 職員数 ( 年 月 日現在)

区分	定員	現員	区分	定員	現員
保健師			臨床検査技師		
助産師			臨床工学技士		
看護師			理学療法士		
准看護師			作業療法士		
看護補助者			管理栄養士・栄養士		
医師			事務員		
歯科医師			その他		
薬剤師					
診療放射線技師			合計		

2) 産科の外来・入院患者数、助産師・医師数及び分べん件数

( 年 月 日現在)

	外来患者延数		入院患者延数		助産師数	医師数
	前年度	前々年度	前年度	前々年度		
産科						
分べん延件数 (A)						
うち正常分べん件数 (B)						
B / A (%)						

3) 看護単位別、診療科名、病床数、入院患者数及び看護要員数(病院のみ)

( 年 月 日現在)

看護単位	診療科名	病床数	入院患者数	看護要員数					合計
				保健師	助産師	看護師	准看護師	看護補助者	
合計									

- ※ 入院患者数は1日平均の数を記載すること。
- ※ 全看護単位について記載すること。
- ※ 実習に使用する看護単位に○印をつけること。

4) 看護部門の状況

ア 今年度の方針と目標

方針
目標

イ 看護職員の継続教育実施状況 (前年度及び今年度実績)

実習施設内研修	実施件数	件	受講者延べ人数	人
実習施設外研修	参加件数	件	受講者延べ人数	人
研修会名	年月	内容	参加者数	

ウ 看護部門の各種基準、手順の整備状況

区分	整備状況
看護基準	
看護手順	
分べん介助手順	
保健指導指針、基準	
その他	

5) 実習指導体制  
ア 勤務体制

勤務体制	三交替制	二交替制	当直制	その他
	( )			
勤務時間及び看護方式	区分	勤務時間	看護方式	
	日勤	～		
	準夜勤	～		
	深夜勤	～		
	変則勤務	～		
	〇〇勤務	～		

※看護方式 (例) チームナーシング, モジュール型継続受け持ち方式, プライマリ・ナーシング, 機能別看護方式, 固定チームナーシング, パートナーシップ・ナーシング・システム等

イ 実習指導者の略歴

看護単位	氏名	免許の種類	専門学歴 (卒業年)	実習指導者講習会 (修了年)	実務年数
		保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		
		保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		
		保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		

ウ 設備、図書等の整備状況

区分	有	無	整備状況
更衣室			
休憩室			
討議室			
待機室			
看護関係図書			図書 冊、学術雑誌 種類
その他			

6) 他校学生等の実習受入れ状況 (今年度実績)

区分	学校養成所名	学生数	1グループの学生数	実習単位数及び時間数	実習科目
保健師学校養成所					
助産師学校養成所					
看護師学校養成所	(課程名)				
准看護師学校養成所					
合	計				

7) 産科病棟及び産科外来の業務の実施状況  
ア 集団指導の実施状況

産科病棟	集団指導の名称	回数／週	産科外来	集団指導の名称	回数／週

イ 新生児の管理方法 : 母児同室、母児異室、その他( )  
 ウ 助産師外来の有無 : 有、無  
 エ 家庭訪問指導実施 : 有、無

<記載要領>

- 1 実習を行う病院、診療所及び助産所のすべてについて養成所が記載すること。
- 2 実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 3 1)「職員数」は、非常勤職員があるときは、括弧書きにより別掲とすること。また、助産所においては、「医師」の欄には「嘱託医」の数を記載すること。
- 4 4)―イ「看護職員の継続教育実施状況」については、前年度及び今年度の実績について、その代表的なものを簡潔に記載すること。
- 5 5)―イ「実習指導者の略歴」については、「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」(令和2年10月30日医政発1030第1号「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正についての別添)に定める実習指導者として必要な研修又は専任教員として必要な研修を修了した年及び研修の名称を記載すること。
- 6 5)―ウ「設備、図書等の整備状況」については、その有無及び数を記載すること。また、設備等は、実習期間中の専用、兼用(職員／他校学生)の別を記載すること。

## (2) 病院、診療所及び助産所以外の実習施設 ( 年 月 日現在)

施設名								
位置		電話						
開設年月日								
設置者名		代表者名					(職種)	
管理者名								
利用者数		定員 人		利用者 人/月 (延べ 人/月)				
実習科目								
養成所からの距離、学生の交通手段及び所要時間								
職員数	区分	定員	現員	非常勤	区分	定員	現員	非常勤
	保健師				その他の介護職員			
	助産師				理学療法士			
	看護師				作業療法士			
	准看護師				その他			
	医師							
	介護福祉士				合計			
実習指導者の略歴	氏名	専門学歴 (卒業年)		実習指導者講習会 (修了年)		実務年数		
		大学 短大 養成所						
他校学生等の受入れ状況	区分	学校養成所	学生数	1グループの学生数	実習単位数及び時間数	実習科目		
	保健師学校養成所							
	助産師学校養成所							
	看護師学校養成所	(課程名)						
	准看護師学校養成所							
	合計							
備考								

## &lt;記載要領&gt;

- 1 実習を行うすべての施設について養成所が記載することとし、実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 2 「施設名」欄について、診療所の場合には、診療科名まで記載すること。
- 3 「利用者数」欄については、適宜その施設の利用状況が分かるような数を記載すること。
- 4 「実習指導者の略歴」については、「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」(令和2年10月30日医政発1030第1号「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正についての別添)に定める実習指導者として必要な研修又は専任教員として必要な研修を修了した年及び研修の名称を記載すること。
- 5 併設施設がある場合には、「備考」欄に記載すること。
- 6 実習指導者のその他資格(認定看護師等)、実習指導者が看護職以外の場合職種等は、「備考」欄に記載すること。

3 看護師及び准看護師養成所

(1) 病院及び診療所 ( 年 月 日現在)

名称						
位置	電話					
設置者名	代表者名					
院長名						
病床数	総数	一般	療養	結核	精神	感染症
実習科目						
養成所からの距離、学生の交通手段及び所要時間						

1) 職員数 ( 年 月 日現在)

区分	定員	現員	区分	定員	現員	区分	定員	現員
保健師			歯科医師			作業療法士		
助産師			薬剤師			管理栄養士 ・栄養士		
看護師			診療放射線技師			事務員		
准看護師			臨床検査技師			その他		
看護補助者			臨床工学技士					
医師			理学療法士			合計		

2) 看護単位別、診療科名、病床数、入院患者数及び看護要員数(病院のみ)  
( 年 月 日現在)

看護単位	診療科名	病床数	入院患者数	看護要員数					
				保健師	助産師	看護師	准看護師	看護補助者	合計
合計									

- ※ 入院患者数は1日平均の数を記載すること。
- ※ 全看護単位について記載すること。
- ※ 実習に使用する看護単位に○印をつけること。

3) 産科の入院患者数及び分娩件数 (母性看護学実習を行う施設のみ)

前年度産科入院患者延数	数
前年度分べん延件数	件

4) 小児科の外来・入院患児数 (小児看護学実習を行う施設のみ)

前年度外来患児数(1日平均)	前年度実習病棟の入院患児(1日平均)

5) 病院の組織図及び看護部門の組織図

6) 看護部門の状況

ア 本年度の方針と目標(病院のみ)

方針
目標

イ 看護職員の継続教育実施状況（前年度及び今年度実績）

実習施設内研修	実施件数	件	受講者延べ人数	人
実習施設外研修	参加件数	件	受講者延べ人数	人
研修会名	年月	内容	参加者数	

ウ 各種基準、手順の整備状況

区	分	整備状況
看護基準		
看護手順		
看護計画		
看護記録		
看護用具の整備		
その他		

7) 実習指導体制

ア 勤務体制

勤務体制	三交替制	二交替制	当直制	その他（ ）
	区	分	勤務時間	看護方式
勤務時間及び看護方式	日勤		～	
	準夜勤		～	
	深夜勤		～	
	変則勤務		～	
	〇〇勤務		～	

※看護方式（例）チームナーシング、モジュール型継続受け持ち方式、プライマリ・ナーシング、機能別看護方式、固定チームナーシング、パートナーシップ・ナーシング・システム等

イ 実習指導者の略歴

看護単位	氏名	免許の種類	専門学歴（卒業年）	実習指導者講習会（修了年）	実務年数
		保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		
		保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		
		保健師 助産師 看護師	大学 短大 養成所		

ウ 設備、図書等の整備状況

区	分	有	無	整備状況
更衣室				
休憩室				
討議室				
看護関係図書				図書種類 冊、学術雑誌
その他				

## 8) 他校学生等の実習受入れ状況（今年度実績）

区分	学校養成所名	学生数	1グループの学生数	実習単位数及び時間数	実習科目
保健師学校養成所					
助産師学校養成所					
看護師学校養成所	(課程名)				
准看護師学校養成所					
合計					

## (2) 病院及び診療所以外の実習施設（年 月 日現在）

施設名	電話							
位置								
開設年月日	代表者名 (職種)							
設置者名								
管理者名								
利用者数	定員	人	利用者	人/月	(延べ)	人/月		
実習科目								
養成所からの距離、学生の交通手段及び所要時間								
職員数	区分	定員	現員	非常勤	区分	定員	現員	非常勤
	保健師				その他の介護職員			
	助産師				理学療法士			
	看護師				作業療法士			
	准看護師				その他			
	医師				合計			
実習指導者の略歴	氏名	専門学歴 (卒業年)		実習指導者講習会 (修了年)		実務年数		
		大学	短大	養成所				
他校学生等の受入れ状況	区分	学校養成所	学生数	1グループの学生数	実習単位数及び時間数	実習科目		
	保健師学校養成所							
	助産師学校養成所							
	看護師学校養成所	(課程名)						
	准看護師学校養成所							
	合計							
備考								



(3) 看護職員が配置されていない実習施設 ( 年 月 日現在)

施設名								
位置		電話						
開設年月日								
設置者名		代表者名					(職種)	
管理者名								
実習科目								
養成所からの距離、 学生の交通手段及び 所要時間								
職員数	職種	定員	現員	非常勤	職種	定員	現員	非常勤
					合計			
業主 務内 容な								
看護 指導 者の 略歴	氏名	職種及び職位		当該部署での 実務経験年数		その他 (実習指導に必要な 学識経験など)		
養成所の専任 教員又は実習 指導教員	氏名				専門分野			
他校 学生 等の 受入 れ状 況	区分	学校養成所	学生数	1グループの 学生数	実習単位数 及び時間数	実習科目		
	保健師学校養成所							
	助産師学校養成所							
	看護師学校養成所	(課程名)						
	准看護師学校養成所							
	合計							
備考								

## <記載要領>

- 1 実習を行うすべての施設について養成所が記載することとし、実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 2 (1)―1)「職員数」は、非常勤職員があるときは、括弧書きにより別掲とすること。
- 3 (1)―2)については、訪問看護を実施している病院は、「看護単位」の欄に「訪問看護」と記載し、「入院患者数」欄に月間訪問延件数を記載すること。
- 4 (1)―3)については、母性看護学実習を行う施設についてのみ記載すること。
- 5 (1)―4)については、小児看護学実習を行う施設についてのみ記載すること。入院患児数については、実習を行う病棟の入院患児数を記載すること。また、疾病の種類・年齢について資料を添付すること。疾病の種類は、がん、循環器疾患等大まかに記載し、年齢については、小児の成長発達段階が学習できるか否かの観点から新生児、乳幼児、学童、思春期等の発達段階別に記載すること。また、看護師による専門外来又は保健指導を行っている場合には内容・人数等の資料を添付すること。
- 6 (1)―6) ―イについては、前年度及び今年度の実績について、その代表的なものを簡潔に記載すること。
- 7 (1)―7) ―イ及び(2)の「実習指導者の略歴」については、「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」(令和2年10月30日医政発1030第1号「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正についての別添)に定める実習指導者として必要な研修又は専任教員として必要な研修を修了した年及び研修の名称を記載すること。
- 8 (2)の「施設名」欄について、診療所の場合には、診療科名まで記載すること。
- 9 (2)の「利用者数」欄については、次の数を記載すること。
  - ・ 介護老人保健施設及び介護老人福祉施設の場合は、入所及び通所定員を記載すること。
  - ・ 訪問看護ステーションの場合は、利用者数を記載すること。
  - ・ その他の施設の場合は、適宜その施設の利用状況が分かるような数を記載すること。
- 10 併設施設がある場合には、「備考」欄に記載すること。
- 11 介護老人保健施設及び介護老人福祉施設については、そのサービス内容を「備考」欄に記載すること。
- 12 (3)「看護職員が配置されていない実習施設」については、次のとおりに記載すること。
  - ・ 「職員数」については、職種を記載すること。
  - ・ 「主な業務内容」は、実習部署の業務内容について簡潔に記載すること。
  - ・ 「看護職員以外の実習指導者の略歴」は、実習指導に必要な資格や学識経験について記載すること。
  - ・ 「養成所の専任教員又は実習指導教員」には、学生が必要時指導を受けられる体制として、看護師及び准看護師養成所の当該実習を担当する専任教員又は実習指導教員氏名と専門分野を記載すること。

様式第 2—7

収支予算及び向こう 2 年間の財政計画書

(単位 千円)

収 入			支 出		
項目	開校年度	次年度	項目	開校年度	次年度
学生生徒納付金収入			人件費		
入学金			教員人件費		
授業料			事務職員等人件費		
実験実習料			その他		
施設設備資金			教育研究費		
その他			研修費		
寄付金収入			研究費		
特別寄付金			外部講師謝金		
一般寄付金			旅費交通費		
現物寄付金			実習経費		
			教材費		
補助金収入			図書費		
地方公共団体補助金			その他		
			管理経費		
手数料			消耗品費		
入学検定料			光熱水費		
試験料					
証明手数料					
繰入金等収入			その他		
その他			その他		
合計			合計		
学生 1 人当たりの額			学生 1 人当たりの額		

<記載要領>

計上すべき項目、金額については設置主体に定める会計規程に準じて記載すること。

学生 1 人当たりの納付金額 (単位 円)

	入学検定料	入 学 金	授業料 (月額)	その 他	合 計
入学年度			( )		
次年度			( )		

整備に要する経費及び資金 (単位 千円)

所 要 経 費			資 金 計 画	
区 分	整 備 方 法	金 額	区 分	金 額
土 地	設置者所有 寄付 買収 その他		自 己 資 金	
建 物 (建物附属設備を含む)	設置者所有 寄付 買収 その他		借 入 金	
初 度 設 備 (機械器具、模型及び図書再掲)		( )	そ の 他	
合 計			合 計	

<記載要領>

- 1 各養成所及び課程ごとに作成すること。
- 2 「資金計画」の「その他」の欄は、内訳を記載すること。
- 3 「資金計画」に「借入金」がある場合には、返済計画書を添付すること。

様式第 3—1

長、補佐及び専任教員の履歴総括表 ( 年 月 日現在 )

氏 名	年 齢	免許 の 種 類	専任教員養成 講習会等		教務主任養成 講習会等		実務経験		着 任 予 定 日	備 考
			受講の 有無	修了 年度	受講の 有無	修了 年度	臨床	教育		
養成所長							年	年( )		
養成所長補佐										
専 任 教 員	教務主任									
	実習調整者									
	その他									
実習指導教員										

< 記載要領 >

- 1 「実務経験」の「教育」欄には、当該教育の経験年数を( )で再掲すること。
- 2 非常勤の臨床年数及び教育年数については、常勤換算した年数を記載すること。
- 3 准看護師としての勤務年数は「実務経験」の年数には含めないこと。
- 4 看護教員養成講習会の受講予定がある場合には、「専任教員養成講習会等」又は「教務主任養成講習会等」の「修了年度」の欄に予定年度を記載すること。
- 5 大学において教育に関する科目を履修して卒業した場合又は大学院において教育に関する科目を履修した場合には、備考欄に記載すること。
- 6 看護教員養成講習会等の受講及び看護師等養成所設立準備室での勤務の場合は、「実務経験」の年数には含めないこと。

様式第 3—2

長、補佐、専任教員及びその他の教員の履歴書 ( 年 月 日現在 )

氏 名						生年月日					
現 住 所	都道府県			市町村		担当予定科目					
学 歴	年 月		大学院 (博士・修士)		大学	短大	養成所	(卒・修業、中退)			
	学校・養成所名		学部学科名								
免 許	種 類		登 録		年 月 日		登 録 番 号				
専任教員養成講習会・教務主任養成講習会の受講歴			講 習 会 の 名 称				修了年月 (修業期間)				
専 門 職 歴	施 設 名	職 種 種 位	始 期		終 期		期 間				
			合 計		内 訳						
	年 月	年 月	年 月	年 月	臨 床		教 育		そ の 他		
	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	
合 計											
研究発表、論文等の業績・実務研修の受講歴 (主なものを記載)											

上記内容に相違ないことを認める。 \_\_\_\_\_ (自筆)

<記載要領>

- 1 学歴については、担当科目を教授するに関連する教育歴のすべてを記載すること。
- 2 免許については、看護職に限らず、介護福祉士等保有するすべての免許について記載すること。
- 3 専門職歴
  - (1) 専門職歴の「施設名」については、看護師である教員は、担当する専門分野に関する資質が確認できるよう、勤務病棟までを記載すること。また、看護師養成所の場合は課程の区分(2年課程、3年課程)を明記すること。また、担当した専門分野名も括弧書きで記載すること。
  - (2) 長期研修(看護教員養成講習会、認定看護師教育課程、認定看護管理者教育課程等)の受講及び看護師等養成所設立準備室での勤務、並びに長期の休業(育児休業、病気休業等)の場合は、その間を「その他」に記載すること。
  - (3) 非常勤の場合は、その旨を「職種・職位」の欄に記載すること。ただし、年数については常勤換算せずに、勤務した期間を記載すること。
  - (4) 准看護師として勤務した期間もすべて記載すること。
  - (5) 重複している期間については、( )で記載すること。また、期間の合計に重複している期間を計上しないこと。

例

(令和4年4月1日現在)

	施設名	職種 職位	始 期		終 期		期 間							
			合 計		内 訳									
			年	月	年	月	年	月	臨 床		教 育		そ の 他	
									年	月	年	月	年	月
専門 職 歴	〇〇病院 小児病棟	看護師	H10	4	H14	3	4	0	4	0	—	—	—	—
	〇〇病院 小児病棟	看護 主任	H14	4	H20	1	5	10	5	10	—	—	—	—
	〇〇病院 外科病棟	看護 師長	H20	2	H23	12	3	11	3	2	—	—	0	9
	〇〇看護専 門学校看護 師3年課程 (小児看護 学)	看護師 専任教 員	H24	1	R2	1	8	1	—	—	8	1	—	—
	〇〇大学看 護学部(小 児看護学)	非常勤 講師	R2	2	R3	1	1	0	—	—	1	0	—	—
	〇〇 看護専門学 校看護師3 年課程(小 児看護学)	非常勤 講師	R2	2	現在に 至る		1 (1)	3 (0)	—	—	1 (1)	3 (0)	—	—
	〇〇看護専 門学校准看 護学科(小 児看護学)	非常勤 講師	R2	8	現在に 至る		(1)	(9)	—	—	(1)	(9)	—	—
合 計						24	1	13	0	10	4	0	9	

上記内容に相違ないことを認める。

(自筆)

様式第 3—3

長、補佐、専任教員及びその他の教員の就任承諾書

承諾書	
貴養成所の養成所長(養成所長補佐、専任教員 ○○学科:担当分野 ○○○○、非常勤講師、添削指導員)として、 年 月 日より就任する ことを承諾します。	
年 月 日	
養成所名 ○○○○	
(代表者) ○○○○ 殿	
住所	
氏名	

様式第 3—4

実習施設の承諾書

承諾書	
貴養成所の実習施設として、 年 月 日から○○○○○(実習施設名) を使用することを承諾します。	
年 月 日	
養成所名 ○○○○	
(代表者) ○○○○ 殿	
施設名 ○○○○	
(代表者) ○○○○	

様式第 4

地域の実状に照らした学生の確保の見込みに関する状況 ( 年現在)

	過去 5 年間の実績	申請年	開設年	開設後 5 年間の見込み			
18 歳人口							
高校卒業生数							
・ 県内進学数							
・ 圏内進学数							
看護師等学校養成所入学者数							
・ 県内からの進学数							
・ 県外からの進学数							
定員充足率	県内						
	圏内						

(注) 看護師養成所(2年課程(通信制))については上記にかかわらず、県内の准看護師免許登録数、新規准看護師免許登録数、看護師養成所(2年課程)の進学者数などを記載すること。

様式第 5

変更計画(変更承認申請)の概要

設置者	名称						
	住所	電話					
	代表者名	職位					
養成所	名称	課程名					
	位置	電話					
変更予定年月日							
カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師保健師	看護師助産師
			3年課程	2年課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)							
1 学 年 定 員							
その他の併設養成所	養成所(課程) 名(入所定員 名・総定員 名)						
変更内容		現行			変更後		
	学則						
	課程						
	教育課程						
	修業年限						
	入所定員						
	校舎の各室の用途及び面積						
	実習施設						
	1 学 年 学 級 数						
変更理由の概要							

<記載要領>

1 設置者

- (1) 設置者の名称及び住所は、登記簿のとおりに記載すること。
- (2) 設置者の住所の欄には、主たる事務所の所在地を記載すること。

2 養成所の名称

- (1) 養成所の名称は正確に記載し、同一学則の中に他の養成所（保健師、助産師、看護師、准看護師）について規定する場合には、学科名等まで記載すること。

例 ○○学校保健師学科

- (2) 看護師養成所の中に3年課程、2年課程を併設する場合には、該当する学科名等まで記載し、対応する課程名を（課程名）の後に記載すること。

例 ○○学校看護第1学科 (課程名)3年課程(全日制)  
 ○○学校看護第2学科 (課程名)2年課程(全日制)

3 カリキュラムの種類、修業年限及び1学年定員

- (1) 「カリキュラムの種類」欄について、当該養成所で行うすべてのカリキュラムについて「修業年限」欄及び「1学年定員」欄に、対応する修業年限及び1学年定員を記載し、当該申請にかかるカリキュラムに○を付すこと。
- (2) 「1学年定員」欄については、1学年定員(定員を変更する場合には、それが分かるように記載すること。)を記載した上で、廃止する予定のものにはその数字に×を付すとともに、廃止予定年月を付記すること。また、申請しているカリキュラムを含め、まだ開始していないものには○を付し、開始予定年月を付記すること。

4 その他の併設養成所

看護師等養成所以外のすべての併設養成所を記載すること。

例1 定員40名で看護師の養成(3年課程・全日制)を行っている養成所が、令和3年4月に定員を80名にする場合の変更承認申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師保健師	看護師助産師
			3年課程	2年課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)			3 全日制				
1学年定員			40→80 R3.4				

例2 定員40名ずつで看護師の養成(3年課程及び2年課程・いずれも全日制)を行っている養成所が、令和3年3月に2年課程による養成を廃止する場合の変更承認申請

カリキュラムの種類	単独カリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師保健師	看護師助産師
			3年課程	2年課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)			3 全日制	2 全日制			
1学年定員			40	<del>40</del> R3.3			



例3 定員40名ずつで看護師の養成(3年課程及び2年課程・いずれも全日制)を行っている養成所が、令和3年4月から定員40名で保健師と看護師との統合カリキュラムによる養成を新たに行う場合の看護師養成所についての変更承認申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム				統合カリキュラム		
	保健師	助産師	看護師 3年課程	看護師 2年課程	准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
修業年限 (全日制、定時制等の別)			3 全日制	2 全日制			
1学年定員			40	40		40 R3.4	

※ 別に保健師養成所についての指定申請も必要

※ 看護師養成所については、学則(入所定員及び修業年限)変更申請を行う。

#### 様式第6

校舎の各室の名称、用途及び面積の新旧対照表

新				旧			
番号	室の名称	面積	専・兼の別	番号	室の名称	面積	専・兼の別
合計				合計			

#### <記載事項>

- 1 変更部分対比できるように記載すること。
- 2 移転新築等全面改築については、様式第2-3を使用すること。
- 3 看護師養成所(2年課程(通信制))で養成所以外の場所で面接授業を行う場合は当該授業を行う場所についても別に本表を作成すること。
- 4 併設する養成所及び課程がある場合、それぞれの合計面積を記載すること。

#### 様式第7

学生に関する事項

年度	定員	応募者	受験者	合格者	入学者	一般学歴				
						中卒	高卒	短大卒	大卒	その他

#### 退学者の状況

年度	退学者数	退学の理由

#### <記載要領>

いずれも過去3か年について記載すること。

様式第 8  
指定取消申請の概要

設置者	名 称						
	住 所	電 話					
	代 表 者 名	職 位					
養成所	名 称	課 程 名					
	位 置	電 話					
取 消 年 月 日							
カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修 業 年 限 (全日制、定時制等の別)							
1 学 年 定 員							
その他の併設養成所	養成所(課程) 名(入所定員 名・総定員 名)						
取消しを受けようとする理由							
卒業できない学生への配慮							
学 籍 簿 の 保 管 先							

<記載要領>

1 設置者

- (1) 設置者の名称及び住所は、登記簿のとおりに記載すること。
- (2) 設置者の住所の欄には、主たる事務所の所在地を記載すること。

2 養成所の名称

- (1) 養成所の名称は正確に記載し、同一学則の中に他の養成所(保健師、助産師、看護師、准看護師)について規定する場合には、学科名等まで記載すること。

例 ○○学校保健師学科

- (2) 看護師養成所の中に3年課程、2年課程を併設する場合には、該当する学科名等まで記載し、対応する課程名を(課程名)の後に記載すること。

例 ○○学校看護第1学科 (課程名)3年課程(全日制)  
○○学校看護第2学科 (課程名)2年課程(全日制)

3 カリキュラムの種類、修業年限及び1学年定員

- (1) 「カリキュラムの種類」欄について、当該養成所で行うすべてのカリキュラムについて「修業年限」欄及び「1学年定員」欄に、対応する修業年限及び1学年定員を記載し、当該申請にかかるカリキュラムについて○を付すこと。
- (2) 「1学年定員」欄については、1学年定員を記載した上で、廃止する予定のものにはその数字に×を付すとともに、廃止予定年月を付記すること。また、申請しているカリキュラムを含め、まだ開始していないものには○を付し、開始予定年月を付記すること。1学年定員を変更する場合には、それが分かるように記載すること。

4 その他の併設養成所

看護師等養成所以外のすべての併設養成所を記載すること。

- 5 「卒業できない学生に対する措置」欄については、指定取消予定日の時点で在生学生があるときについてのみ記載すること。
- 6 「学籍簿の保管先」欄には、廃止後の証明書等の発行者名まで記載すること。

例1 定員40名で看護師の養成(3年課程・全日制)を行っている養成所が、令和3年3月に指定取消を受けようとする場合の指定取消申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム				統合カリキュラム		
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)			3 全日制				
1学年定員			<del>40</del> R3.3				

例2 定員20名ずつで保健師の養成(全日制)と助産師の養成(全日制)を行っている養成所が、令和3年3月にそれらを廃止して、同年4月から定員40名の保健師と看護師との統合カリキュラムを行う場合の助産師養成所についての指定取消申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム				統合カリキュラム		
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)	1 全日制	1 全日制				4 全日制	
1学年定員	<del>20</del> R3.3	<del>20</del> R3.3				<del>40</del> R3.4	

※別に保健師養成所についての学則(入所定員、修業年限及び教育課程)変更の承認申請及び看護師養成所についての指定申請も必要

様式第 9  
届出の概要

設置者	名称						
	住所	電話					
	代表者名	職位					
養成所	名称	課程名					
	位置	電話					
変更年月日							
カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師
			3年 課程	2年 課程			
修業年限 (全日制、定時制等の別)							
1 学年定員							
その他の併設養成所	養成所(課程) 名(入所定員 名・総定員 名)						
		変更前			変更後		
変更 内容	設置者の氏名及び住所(法人にあっては、名称及び主たる事務所の所在地)						
	養成所の名称						
	養成所の位置						
	学則						
変更理由							

<記載要領>

1 設置者

- (1) 設置者の名称及び住所は、登記簿のとおりに記載すること。  
(2) 設置者の住所の欄には、主たる事務所の所在地を記載すること。

2 養成所の名称

- (1) 養成所の名称は正確に記載し、同一学則の中に他の養成所(保健師、助産師、看護師、准看護師)について規定する場合には、学科名等まで記載すること。

例 ○○学校保健師学科

- (2) 看護師養成所の中に3年課程、2年課程を併設する場合には、該当する学科名等まで記載し、対応する課程名を(課程名)の後に記載すること。

例 ○○学校看護第1学科 (課程名)3年課程(全日制)

○○学校看護第2学科 (課程名)2年課程(全日制)

3 カリキュラムの種類、修業年限及び1学年定員

「カリキュラムの種類」欄について、当該養成所で行うすべてのカリキュラムについて「修業年限」欄及び「1学年定員」欄に、対応する修業年限及び1学年定員を記載し、当該届出にかかるカリキュラムについて○を付すこと。

4 その他の併設養成所

看護師等養成所以外のすべての併設養成所を記載すること。

例1 看護師（3年課程・全日制）と准看護師の養成を行っている養成所が、准看護師課程を令和4年4月より募集中止する場合の学則変更

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム					統合カリキュラム																																	
	保健師	助産師	看護師		准看護師	看護師 保健師	看護師 助産師																																
			3年 課程	2年 課程																																			
修業年限 (全日制、定時制等の別)			3 全日制		2																																		
1学年定員			40		40																																		
その他の併設養成所	養成所(課程) 名(入所定員 名・総定員 名)																																						
	変更前				変更後																																		
変更内容	学則	<p>第〇条 本校の課程、学科、修業年限、及び学生定員は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>学科</th> <th>修業年限</th> <th>入学定員</th> <th>総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護専門課程</td> <td>看護学科</td> <td>3年</td> <td>40名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>看護高等課程</td> <td>准看護学科</td> <td>2年</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> </tbody> </table>					課程	学科	修業年限	入学定員	総定員	看護専門課程	看護学科	3年	40名	120名	看護高等課程	准看護学科	2年	40名	80名	<p>第〇条 本校の課程、学科、修業年限、及び学生定員は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>学科</th> <th>修業年限</th> <th>入学定員</th> <th>総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護専門課程</td> <td>看護学科</td> <td>3年</td> <td>40名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>看護高等課程</td> <td>准看護学科</td> <td>2年</td> <td>40名</td> <td>80名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年4月以降、看護高等課程准看護学科の学生募集を中止する。</p>			課程	学科	修業年限	入学定員	総定員	看護専門課程	看護学科	3年	40名	120名	看護高等課程	准看護学科	2年	40名	80名
		課程	学科	修業年限	入学定員	総定員																																	
看護専門課程	看護学科	3年	40名	120名																																			
看護高等課程	准看護学科	2年	40名	80名																																			
課程	学科	修業年限	入学定員	総定員																																			
看護専門課程	看護学科	3年	40名	120名																																			
看護高等課程	准看護学科	2年	40名	80名																																			